

## 式 辞

本日、木付親次県議会議員様、三河明史国東市長様をはじめ、多くのご来賓の方々をお迎えして、ご列席の保護者の皆様、教職員一同、在校生とともに、一九二名の皆さんに卒業証書を授与する運びとなりました。ご来賓の皆様方におかれましては、大変ご多忙の中、ご臨席いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さんは学習面はもちろん、その他の活動でも大きな成果をあげてきました。柔道・バレーボール・陸上・野球・農業クラブ・工業科関係・JRC・文芸などの部活動、ボランティアを中心にした地域連携活動、生徒会・委員会の行事運営には、新しいものを創り出そうとする意識が随所に見られました。さて、知ってのとおり選挙権年齢が引き下げられました。ある調査では引き下げ賛成が45%、反対が20%と引き下げに期待するデータが示され、意見としては、若者には地域に目を向けてほしい、自ら課題意識を持つことが必要、有権者として常識的な行動が求められる、といった声が寄せられています。そういった期待に応えられるよう、高校時代の経験を生かして大人としての生き方、人との付き合い方、正しい生き方を常に心にとめながら日々の生活を送ってほしいと思います。

さて“優れた科学者を生み出すのは「人格」である。”と、先日証明された重力波の予言で注目を集めているアインシュタインは言いました。

彼は5歳の頃まであまり言葉を持たず、その後は学校になじめなかった。言葉を理解するのは得意であったが、アウトプットに時間を要した。と言われてています。おそらく苦労しながら学習し、自分なりの表現方法を身につけ、時間をかけて他の人へ自分の考えを伝えて、多くの業績をあげたのでしょう。

心理学の世界では人格について『興味・関心を、家族・趣味・政治・仕事へと広げ、これにどれだけ積極的に参加し、自己意識を拡大してゆくか。いわば、他人の幸福を自分の幸福と同一視できるほど拡大視できるか。』と言われてています。

すなわち、自分の事だけに向けられていた意識を広げて、周囲に目を向けてこそ、優れた社会人であり大人の証だろうと思います。そのために、自分の表現力を高め、新たな出会いを恐れず、他者との出会いを楽しみ、理解に努めて、国東高校での生活と同じように温かな人間関係を大切に作る姿勢を持ち続けて下さい。

アインシュタインは“人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには走らなければならない。成功者になろうとするのではなく、むしろ価値のある人間になろうとせよ。”と言いました。皆さんは自分で自転車をこぎ始めたところです。保護者や先生といった補助輪がはずされました。こぐためには体力も必要です。健康には十分注意して身体を大切にして下さい。そして、どこにいても、どの仕事を行うときも他者や周囲への思いやりを忘れず、健康な人格の完成を目指す、価値ある人間であって下さい。

結びに、私は校歌の三番は三年生へ送る言葉のように感じています。『悠久の風 私と歩む この澄みわたるさやかな空へ 高く飛び立つ国東の地で 挑戦しようあきらめないで 築いていこう歴史と文化 夢道ひろがる我が母校』卒業生の皆さん、共に歩んできた同級生や先生、見守ってくれた家族や地域の方々、校歌にある自然豊かな山と海と空を忘れないで下さい。そして、本校卒業生としての誇りを持って『高い目標をあきらめず、歴史や文化を受け継ぐ』闘志を内に秘め、人生を歩んで下さい。

最後になりましたが、保護者の皆様方、お子さんのご卒業まことにおめでとうございます。多感な時期でもあり、ご苦労されたこともあったと思いますが、本校へのご理解をいただき無事に卒業証書を授与することが出来ました。今までのご協力に、この場を借りて、深くお礼申し上げます。

また、ご臨席いただきましたすべての皆様に、重ねて感謝申し上げますとともに、今後も本校教育のために、御支援と御協力賜りますようお願い申し上げます。卒業生の皆さんが国東高校で培った力を生かし、人の痛みや社会の問題を敏感に感じ取れる人格を身につけた、たくましく、心豊かな人間としてご活躍されることを願って式辞といたします。

平成二十八年三月一日

大分県立国東高等学校 校長 後藤雅宏